

AGILENT OPENLAB CDS ネットワーク化ソリューション

TAMINCO 社の事例: OPENLAB CDS EZCHROM エディションによる生産性と チームワークの向上

The Measure of Confidence

お客様のプロフィール:

Taminco 社



© Taminco

Taminco 社は、世界最大のアルキルアミンおよびアルキルアミン誘電体の総合製品メーカーです。Taminco 社の製品は、農業、水処理、個人および在宅医療、動物栄養、石油およびガスの最終製品市場向けの多様な日用品のメーカーの顧客によって使用されています。Taminco 社の製品は、これらの日用品が最適な性能を実現するために必要なさまざまな特性を提供します。Taminco 社は現在、約 850 人を雇用し、20 か国で運営し、米国、欧州、アジアに 7 か所の生産施設を持っています。

R&D および QA/QC での生産性の向上、データの保護

化学メーカーの多くは、差別化された製品を迅速に市場へ投入することによって競争力を高めようとしています。R&D および QA/QC の生産性の向上と貴重なデータの保護は、化学企業が目標を達成するための 2 つの重要な要素です。

Taminco 社はこの目標を達成するために、中央ファイル記憶装置付きの Agilent OpenLAB クロマトグラフィーデータシステム (CDS) EZChrom エディションクライアント/サーバーソリューションを選択しました。Agilent Professional Services Organization プロジェクト管理サービスにより、高いレベルのユーザー受け入れテストを実施してシステムを迅速に配備しました。Taminco 社の R&D および QA/QC ラボは、OpenLAB ソリューションを使用して、生産性と団結力を高め、プロセスを合理化し、IT 部門との連携を強化し、データセキュリティを確保しました。

「科学者がラボ内のクライアントワークステーションに縛られることなく、自分の席でデータをより効率的に検証し再処理できるように、アジレントの分散型 CDS を選択しました。このソリューションの導入後、ソフトウェアおよびデータのバックアップを管理する IT プロセスを最適化できることもわかりました」

ANNELIES CALLEWAERT、調査分析者、TAMINCO



Agilent Technologies

実現された効果

- 生産性と士気の向上: 他のユーザーを締め出すことなく、スタッフはオフィスやネットワークのどこからでもデータおよびメソッドの再解析、検証、共有が可能
- プロセスの合理化: 適切なソフトウェアリビジョンおよびマスターメソッドによってクライアントワークステーションを容易にかつ効率的に最新状態に維持
- データ損失のリスクの排除: 中央記憶装置とバックアップによってデータおよびメソッドを安全に管理
- IT プロセスとベストプラクティスの適切な活用により、科学者は分析作業に専念が可能
- アジレントのプロジェクト管理サービスにより、6 か月でシステムをスピーディに導入

状況: 課題とニーズ

Taminco 社の R&D および QA/QC 部門は全体で約 35 台のアジレントの GC および LC システムを運用しています。OpenLAB ソリューションを導入するまで、各システムはスタンドアロン型 Agilent ChemStation によって制御されていました。R&D ラボでは、利用可能なスタンドアロン型ワークステーションの数よりも ChemStation を利用するスタッフの数の方が多い状況でした。このため、科学者達は、クロマトグラフィーデータの再解析と検証のためのデータへのアクセスについて、お互いのスケジュール調整に必要以上に多くの時間と労力をかけていました。

Taminco 社の R&D および QA/QC 部門は頻りに連携して作業しています。例えば、R&D の任務には、QA/QC に移管しその後プロセスと製品品質をモニターするために使用するメソッドの開発が含まれています。選定されたシステムは両方の部門のニーズを満たす必要がありました。

さらに、両方の部門は、欧州連合 (EU) の被雇用者の安全衛生に関わる職場規制を受けており、スタッフがラボ内で全シフト時間を過ごすことなく作業を終えることが要求されています。これを遵守するために、Taminco 社は、自分のデスクから ChemStation にアクセスできるようにする専門ソフトウェアをユーザーに使用させました。残念なことに、使用中にこのリモートアクセスソフトウェアは、ローカルラボの ChemStation へのアクセスを遮断したため、新たなサンプルを分析できなくなりました。

この課題とニーズに対応するために、共有ソフトウェアとデータアクセスを提供するソリューションが必要となりました。

ソリューション: OpenLAB CDS EZChrom エディションの中央ファイル記憶装置付きクライアント/サーバー

スタンドアロン型 ChemStation から、中央ファイル記憶装置付きのネットワーク化した OpenLAB CDS EZChrom クライアント/サーバーシステムにアップグレードすることが最適なソリューションでした。図 1 に、OpenLAB Shared Services サーバーが中央システム管理および中央プロジェクトベースデータファイル記憶装置を提供する概念を示しています。サーバーと機器コントローラーはすべてサーバーラームに配置され、ラボスペースを空けます。

OpenLAB CDS アプリケーションソフトウェアは、強力な Microsoft Windows 2008 R2 ターミナルサーバーに常駐させ、任意のクライアント PC や同様のデバイスから接続できます。ユーザーはネットワークに接続している任意のデバイスから OpenLAB システムにアクセスして、任意の機器からデータを取得、検証、再解析できるため、スタッフ間のワークステーションのアクセスの調整は必要ありません。

「OpenLAB CDS はテーマパークのファストパスのようです。ローカル GC ワークステーションの前に行列はもはやありません。効率性、信頼性、柔軟性は、まさに私達が望んでいるものです」

EVELIEN STRUYVELT, R&D
分析者, TAMINCO

生産性と士気の向上

科学者は、調整に時間をかけることなく、オフィスからでもネットワーク上のどこからでもデータおよびメソッドを再解析、検証、共有できるようになったため、士気が飛躍的に向上しました。また、新しい分析スタッフが組織に加わっても、中央メソッド記憶装置により、正しいメソッドを書き換えることなく容易かつ確実に使用できます。

データセキュリティの向上

OpenLAB ソリューションを導入するまでは、科学者および分析者が自分達でデータをバックアップしていました。R&D のデータやメソッドは、ローカル PC に保持され、科学者の判断によって手動で CD にバックアップされていました。時間がかかるため、R&D では稀にバックアップを取るだけでした。Taminco 社の ISO 9000 プロセスと潜在的に生じる製品品質への任意の調査をサポートする目的から、QA/QC ラボではデータを手動でバックアップし 5 年間保管していました。データやメソッドの安全な中央記憶装置と IT 管理されたバックアップ機能を備えた OpenLAB CDS の配備は、事実上データ損失のリスクを排除しました。

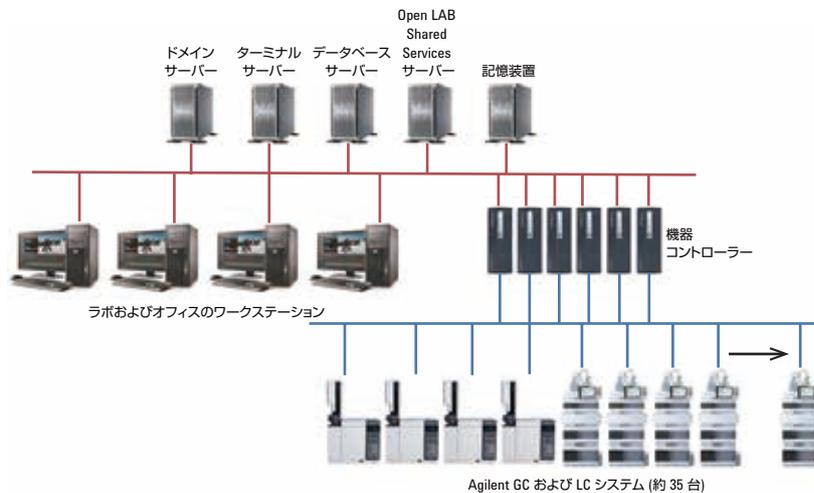


図 1. ネットワーク化した Agilent OpenLAB CDS EZChrom エディションと中央データ記憶装置ソリューションの概念的なアーキテクチャ。システム性能を最大にするために分散型トポロジーが設計されました。注記: 実際の構成は約 35 台の GC および LC システムと該当する数の AIC が含まれます。

「アジレントのプロジェクト管理サービスにとっても満足しています。プロジェクトの進行中、詳細に管理されていたので、心配する必要はまったくありませんでした。10 月の終わりに OpenLAB ソリューションを導入し始めて 4 月に完了したので、約 6 か月かかりました。プロジェクト管理サービスなしに自分達で導入しなければならなかったら、内部リソースを専任にせねばならず、時間ももっとかかったはずです」

ANNELIES CALLEWAERT、調査分析者、TAMINCO



プロセスを合理化する 適切な IT の活用

OpenLAB CDS EZChrom エディションにアップグレードするまで、ChemStation は IT 部門から分離され、ソフトウェアおよびオペレーティングシステムはさまざまなリビジョンで実行していました。ラボスタッフにとって複数台のシステムをメンテナンスすることは煩雑で時間のかかる作業でした。

ネットワーク化したソリューションの中央システム管理機能により、R&D と QA/QC 部門は IT 部門のサービスやベストプラクティスに良好にアクセスでき、スタッフは分析業務に専念できるようになりました。ネットワーク化したワークステーションは IT によって適切なソフトウェアリビジョンで最新の状態に維持でき、データは容易かつ効率的にバックアップされます。OpenLAB ソリューションの選定と導入において IT 部門の関与があったために、R&D および QA/QC 部門と IT 部門との関係が深まりました。IT 部門は現在、ラボで使用されているソフトウェアについて詳しくなり、管理に適切に寄与しています。

「IT 担当者すべてが望むソリューションです。
インストールも拡張も分かりやすく容易で、適切に
障害復旧できるソリューションです」

HERWIG KEIRSEBILCK、グローバル IT サポート、TAMINCO



© Taminco

OpenLAB ソフトウェア製品群の
詳細については、ホームページを
ご覧ください。

www.agilent.co.jp/chem/openlab

アジレントの製品は、研究目的でのみ
使用できます。

その他の目的にはご利用になれません。
本資料に記載の情報、説明、製品仕様等は
予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2013
Published in Japan, October 1, 2013
5991-3218JAJP



Agilent Technologies